



平成23年12月29日

各 位

会 社 名 K F E J A P A N株式会社
代表者名 代表取締役社長 三島 一祥
(コード番号:3061 名証セントレックス)
問合せ先 管理本部総務部長 井上 和明
(TEL 045-474-1259)

当社連結子会社の不適切な取引および会計処理の判明について

このたび、KFE JAPAN 株式会社（以下、「当社」といいます。）の連結子会社である KFE HONG KONG CO., LIMITED.（協榮二葉科技香港有限公司）（所在国：中華人民共和国香港特別行政区。以下、「KFE HK」といいます。）において、下記のとおり、不適切な取引を行っていたことが判明いたしました。

当社の連結子会社において、このような不祥事が発生したことは誠に遺憾であり、また、株主および取引先はじめ関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

記

1. 本件が判明した経緯

当社は、本年9月21日の代表取締役の交代を契機に、社内体制の整備に着手しておりましたところ、香港子会社の経理処理に関する不正を示唆する内部告発があり、本年11月上旬より、それまで当社と利害関係のない現地の法律専門家および会計専門家に依頼し、重要な子会社である KFE HK を重点的に調査いたしました。

その過程において、不適切な取引と疑われる処理が発見され、当社および KFE HK の代表者であった原田隆朗氏（以下、「原田氏」といいます。）および当時の KFE HK の財務・経理部長（以下、「A 氏」といいます。）が当該不適切な取引に深く関与していた可能性が判明いたしました。

当社は、かかる事態に鑑み、全容解明に向けて、上記の社外の専門家による調査を継続中です。

2. 現時点で把握している本件の概要

本件については、全容解明に向け鋭意調査中ですが、現時点で判明する限り、KFE HK において、①3.8 百万 US ドルの売上原価の過少計上および前渡金に係る回収不能額の過少計上等の疑い、②上記の事実を隠蔽するための証拠資料の消去等の事実、が判明しております。

過少計上額はさらに増える可能性があります、A 氏により一部資料が破棄されており、ヒアリングも拒んでいるため、確定作業が難航しております。

3. 社内調査委員会の設置について

当社は、当該不適切な会計処理の事実関係および原因の究明、再発防止策等の今後の対応策にかかる提言が必要と判断し、社内調査委員会を設置予定であります。全容が解明次第、すみやかに調査結果を開示いたします。

また、KFE HK における不適切な会計処理にかかる事実関係および原因の究明、再発防止策等の今後の対応策にかかる提言を同委員会に委嘱してまいります。

4. 業績に与える影響について

過年度の決算に与える影響については、現在調査中であり、当該影響額については、把握でき次第、過年度の決算短信及び有価証券報告書等の訂正の要否、内容および時期と合わせて、速やかに開示する予定です。

5. 今後の対応

当社は、今後、上記調査を継続し、事実関係および原因の究明を行い、その結果を踏まえ、かかる不祥事が二度と起こらないよう、有効かつ適切な再発防止策を策定し断行する所存です。

なお、本件への関与が疑われる原田氏はすでに9月21日取締役を辞任しており、また調査にあたり業務上使用する電子メールなど一部資料を廃棄したためA氏を11月22日付にて懲戒解雇しておりますが、判明した事実関係の如何によっては、両名に対する法的責任の追及も視野に入れてまいります。

今後、二度とこのような不祥事を起こすことのないよう、当社グループ全役職員が一丸となって事実関係および原因を究明し、再発防止策を徹底していくことで、皆様方からの信頼を回復してまいりますので、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上